

基本手数料の構造

○手数料収入総額（674.5億円）より付加手数料（2.3億円）を減じた **672.2億円**が基本手数料の総額

○基本手数料総額（672.2億円）を、次の基準により算出

- ① 医科・歯科分と調剤分のそれぞれの見込件数を基礎とし、
- ② 併せて、医科・歯科分と調剤分の割合が2：1*

※レセプト1件当たりのコストに関して、調剤分が医科・歯科分の加重平均のおおむね半分程度であるため、医科・歯科分と調剤分の割合をおおむね2：1としている

$$\left. \begin{array}{l}
 \text{A 医科・歯科} \quad \text{①見込件数 (751,212千件)} \times \text{②割合 (2 X)} \\
 \text{B 調剤} \quad \quad \text{①見込件数 (375,223千件)} \times \text{②割合 (X)}
 \end{array} \right\} 672.2\text{億円}$$

$$\begin{aligned}
 \text{②割合 (X)} &= 672.2\text{億円} \div (\text{医科歯科割合 (751,212千件} \times 2) + \text{調剤割合 (375,223千件} \times 1)) \\
 &\doteq 35.80\text{円} \rightarrow \text{調剤基本手数料} \quad 35.80\text{円} \times 2 = 71.60 \rightarrow \text{医科・歯科基本手数料}
 \end{aligned}$$

基本手数料の構造

